

令和3年度 橋渡し研究プログラムに係る二次公募 説明資料

シーズ開発・研究基盤事業部
拠点研究事業課

本事業について

事業の方向性

橋渡し研究プログラム（以下、本プログラム）は、医療分野への実用化が期待されるアカデミア発の優れた研究開発を持続化するため、令和3年度末の橋渡し研究戦略的推進プログラムの事業期間終了を待たずに先行実施します。臨床研究中核病院との円滑な連携を取り、集中的な支援を行うことで、医歯薬系分野以外も含めた拠点内外に埋もれている多数のシーズの発掘、支援をさらに促進する等、オールジャパンで橋渡し研究を効率的に推進します。さらに、通常のシーズ公募に加え、緊急事態に対応するための研究開発等についても推進します。

事業の目標と成果

本プログラムでは、アカデミアの優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品・医療機器等として国民に提供することを大きな目標としつつ、短期的には、支援シーズのステージアップや企業等への導出、より開発後期のAMED 他事業に橋渡しすることを目指します。さらに、橋渡し研究支援拠点及び臨床研究中核病院を活用することで、全国の研究者、機関がより効率的・効果的に成功体験を積み、医療分野における研究開発のノウハウが全国裾野まで波及することが期待されます。

本公募では、下図に示すシーズB を対象として、実用化に向けた更なる研究加速を目指す研究開発費（橋渡し研究支援拠点がシーズを支援するのに必要な経費を含む）の支援を希望するシーズを募集します。

公募要領P6



異分野融合型研究開発推進支援事業

POC: Proof of concept 新薬候補物質の効果、安全性等が、動物実験やヒトに投与する臨床研究において認められること
GLP: Good Laboratory Practice 「医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準に関する省令」等
GMP: Good Manufacturing Practice 「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令」等

公募研究開発課題

(公募要領p16)



#	分野等、公募研究開発課題	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発 実施 予定期間	新規採択 課題 予定数	
シーズB 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を含む感染症または関連疾患に関する課題					
	シーズB （非臨床POC取得を目指す 研究開発課題）	感染症・関連疾患※ 2	1 課題当たり 年間上限50,000千円	最長 3 年度 令和 3 年度 ～ 令和 5 年度	0 ～ 2 課題程度

【対象】

関連特許出願済み*で、3年以内に下記の目標への到達を目指す研究開発課題。
ただし、本公募における研究開発期間終了時（3年度以内）に、下記の目標に向けての進捗が十分に期待できるもの。

*知財戦略上の理由により本公募への応募時点で特許出願をしていない場合を除く。
 （様式 1 別紙 3 の 1. ）において特許出願していない理由を説明すること。

- ・非臨床POC取得及び治験届提出を目指す医薬品及び医療機器等の研究開発課題
- ・薬事申請用臨床データ取得を目指す体外診断用医薬品等の研究開発課題

【求められる成果】

非臨床POCの取得、シーズCへのステージアップ、企業導出 等

公募研究開発課題 (公募要領p17)



#	分野等、公募研究開発課題	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発 実施 予定期間	新規採択 課題 予定数	
シーズB 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を含む感染症または関連疾患に関する課題					
	シーズB （非臨床POC取得を目指す 研究開発課題）	感染症・関連疾患※ 2	1 課題当たり 年間上限50,000千円	最長 3 年度 令和 3 年度 ～ 令和 5 年度	0 ～ 2 課題程度

【応募時に満たすべき条件】

開発方針と必要な試験が明確になっていることを前提として、応募時に以下の条件を満たしていること。

- ・PMDAが実施する RS戦略相談（事前面談）が実施されており、**事前面談内容の議事要旨及び別紙（相談内容）を提出すること。**
- ・対面助言を実施している場合、提出した対面助言議事録に基づいて決定された試験パッケージ（治験開始前に評価が必要な項目）を提示すること。また、それらのうち本研究開発課題で実施する試験の範囲を明確にし、各試験の実施費用の内訳について見積書をもって提示すること。
- ・各年度における四半期毎のマイルストーンと、予定通り進捗しない場合の対応策を示すこと。⁵

応募資格者 (公募要領p 9, 29)



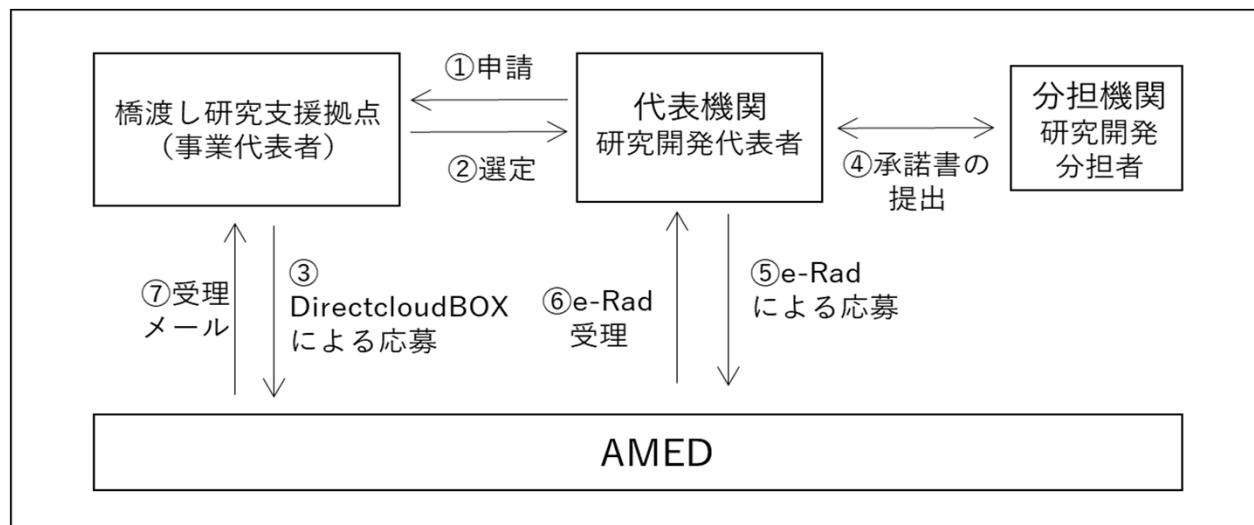
本事業の応募資格者は、橋渡し研究支援拠点の事業代表者（拠点長）です。

応募にあたっては、橋渡し研究支援拠点の支援を受けることが必須です。

※橋渡し研究支援拠点：

北海道大学（分担：旭川医科大学、札幌医科大学）、東北大学、筑波大学、東京大学、慶応義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、九州大学

応募書類の提出手順



応募に際して満たすべき事項 (公募要領p18)



(1) 大学等の研究機関のオリジナルな基礎研究成果によるシーズであり、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を目指す研究開発課題であること。

(2) シーズについて

「橋渡し研究戦略的推進プログラム」の橋渡し研究支援拠点による支援シーズであること。拠点の補助事業計画書に支援シーズとして記載すること。複数年度の研究開発実施期間を希望する課題においては、**8月20日までに応募する橋渡し研究支援拠点の令和3年度補助事業計画書に記載され、AMEDに提出されていること。**

(3) 迅速な承認・認証を目指すシーズであること。

(4) 市場又は医療現場でのニーズが高い領域に対する画期的な治療法に関する研究でありながら、開発ノウハウや研究資金が不足しており、橋渡し研究支援拠点の支援なしでは開発が難しいシーズであること。

(5) 原則として、研究開発代表者の所属する研究機関により、関連特許が出願済みであり、特許取得に向けた努力が継続的になされていること。

応募に際して満たすべき事項

(公募要領p18-19)



(6) 原則として、実質的に同一の内容について、国又は独立行政法人による他の競争的資金制度による助成を受けていないこと、又は受けることが決定していないこと。

(7) 本プログラムでは、研究開発代表者は、委託研究開発費に橋渡し研究支援拠点が提供する研究支援業務の対価に相当する額を計上すること。また、橋渡し研究支援拠点においては（様式5）研究支援計画を作成した上で料金表等に基づく対価の徴収方法について提案書に示すこと。

(8) 3.2.3 研究開発費と研究開発実施予定期間の特記事項（1）に沿った提案であること。

委託研究開発費の範囲 (公募要領p39)



	大項目	定義
直接経費	物品費	研究用設備・備品・試作品、ソフトウェア（既製品）、書籍購入費、研究用試薬・材料・消耗品の購入費用
	旅費	研究開発参加者に係る旅費、外部専門家等の招聘対象者に係る旅費
	人件費・謝金	人件費：当該委託研究開発のために雇用する研究員等の人件費（研究開発代表者・研究開発分担者の人件費※ ² を含む） 謝金：講演依頼、指導・助言、被験者、通訳・翻訳、単純労働等の謝金等の経費
	その他	上記のほか、当該委託研究開発を遂行するための経費（例） 拠点支援費用※² 、研究成果発表費用（論文投稿料、論文別刷費用、HP作成費用等）、会議費、運搬費、機器リース費用、機器修理費用、印刷費、外注費、ライセンス料、研究開発代表者が所属研究機関において担っている業務のうち研究開発以外の業務の代行に係る経費（バイアウト経費）※ ³ 、不課税取引等に係る消費税相当額等
間接経費※ ⁴ 、 ※ ⁵	直接経費に対して一定比率（30%目安）で手当され、当該委託研究開発の実施に伴う研究機関の管理等に必要経費として研究機関が使用する経費	

拠点が定める料金表に基づき研究開発課題の支援に係る見積書を作成し、研究者の合意を得て、契約等により拠点が研究者に請求するものを指す。

提出書類（公募要領p24-25）



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

[採用情報](#) [情報公開](#) [アクセス](#) [お問い合わせ](#)

[メールマガジン登録](#)

ENHANCED BY Google



日本語 [English](#)

AMEDについて

事業紹介

公募情報

事業の成果

ニュース

[トップ](#) > [公募情報](#) > 令和3年度「橋渡し研究プログラム」に係る公募（二次公募）について

公募情報

令和3年度「橋渡し研究プログラム」に係る公募（二次公募）について

資料

資料

- ▶ [公募要領（二次公募）](#) [PDF](#)
- ▶ [（様式1～2）研究開発提案書 シーズB](#) [Word](#)
- ▶ [（様式3）応募課題一覧と連絡先](#) [Excel](#)
- ▶ [（様式4）シーズ選考の概要](#) [Word](#)
- ▶ [（様式5）支援計画](#) [Word](#)

提出書類の様式はこちらからダウンロードしてください
※更新する場合がありますので、最新版をご確認ください
※様式6は自由記載です

こちらは様式7の参考サイトです。
様式は拠点に送付します

- ▶ [医薬品開発の研究マネジメントに関するチェック項目について](#)
- ▶ [医療機器の研究開発マネジメントにおけるチェックポイント/ステージゲート](#)
- ▶ [再生医療研究事業の進捗管理における留意事項について（再生医療研究事業のマネジメントに関するチェック項目について）](#)
- ▶ [e-Rad操作マニュアル](#) [PDF](#)

研究開発代表者が提出する書類（公募要領p24）



すべてe-Radにて提出

P25-26にも注意書きがありますのでお読みください

No.	必須/任意	必要な提案書類	備考
1	必須	（様式 1）研究開発提案書	
2	必須	（別紙 1）研究開発の主なスケジュール	
3	必須	（別紙 2）実施体制図	
4	必須	（別添）要約（英文・和文）	
5	必須	（別紙 3）シーズ開発の概要	
6	必須	（別紙 4）実施計画	
7	必須※	（様式 2）承諾書	※分担機関がある場合のみ必須（分担機関ごとに作成）
8	任意	（別添①）研究開発代表者の各種トレーニングに関する受講証、修了証等の写し	
9	任意	（別添②）臨床試験実施計画書（プロトコル）	
10	任意	（別添③）統計解析計画書	※（案）も可
11	必須※	（別添④）PMDA の事前面談又は対面助言の記録等（相談内容）	※事前面談又は対面助言を受けている場合は必須
12	任意	（別添⑤）企業等と連携して研究場合は、当該企業等との共同研究を示す書類（契約書等の写し）	

事前面談又は対面助言議事録の写し及び別紙の提出がないと、受け付けられません

e-Rad（府省共通研究開発システム）



研究者向けページから、最新のマニュアルをダウンロードしてください。

【研究者向けページ】 https://www.e-rad.go.jp/manual/for_researcher.html

The screenshot shows the e-Rad website interface. The header includes the e-Rad logo and the title '府省共通研究開発管理システム'. Navigation links include 'ホーム', 'English', and 'ログイン'. A red box highlights the '研究者向け' (For Researchers) section, which contains the text '研究者向け操作マニュアルは下記内容をご覧ください。' and a link '▶ 研究者向けマニュアル'. Below this, a pink box contains the text '公募ホームページにあるe-Rad操作マニュアルも参照してください'. At the bottom, there is a list of recent announcements with dates and titles.

2018/05/31	平成30年度「超臨界地熱発電技術研究開発」	2018/06/25 12:00
2018/05/31	平成30年度「課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」に係る公募	2018/06/01 17:00

必ず最新の操作
マニュアルを
ダウンロードして
ください。

研究開発代表者が提出する書類（公募要領p24）



提案書表紙 「橋渡し研究プログラム」（二次公募）・シーズ B（感染症・関連疾患）

研究開発期間にご注意！
次のような場合は受け付けられません
・シーズBで3年度以上

研究開発提案課題名	
拠点名・シーズ番号	
応募資格者（拠点長）氏名	
研究開発代表者 機関名	
研究開発代表者 氏名	
応募する研究開発期間	令和 3 年 月 日～令和 年 3 月 31 日（ 年度） シーズ B（感染症・関連疾患）（最長 3 年度）
開発目的（複数選択可）	☐ 健康増進・予防 ☐ 診断 ☐ 治療 ☐ 予後・QOL 改善
モダリティ	☐ 医薬品 ☐ 医療機器・ヘルスケア ☐ 再生・細胞医療・遺伝子治療 ☐ その他（ ）
疾患領域（複数選択可）	☐ がん ☐ 生活習慣病（循環器、糖尿病等） ☐ 精神・神経疾患 ☐ 老年医学・認知症 ☐ 成育 ☐ 難病 ☐ 感染症（AMR 含む）

研究開発代表者が提出する書類（公募要領p24）



様式 1 別紙 4：実施計画

別紙 4 ←

実施計画←

1. 研究開発計画←

※本研究開発における実施項目ごとの計画をシーズ B の目標達成までの期間（3年度以内が目安）について記載してください。←

(1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○←

令和 A 年度：←

←

令和 A + 1 年度：←

←

令和 A + 2 年度：←

←

←

(2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○←

令和 A 年度：←

←

令和 A + 1 年度：←

←

令和 A + 2 年度：←

目標達成までの期間の実施計画を記載してください

研究開発代表者が提出する書類（公募要領p24）



様式 2 : 承諾書

分担機関がある場合のみ必須

令和 年 月 日

承 諾 書

(研究開発代表者の所属機関・職名)
(研究開発代表者の氏名) 殿

公印取得に時間を要
する場合があります、
ご注意ください。

(研究開発分担者の所属機関・職名)
(所属長の氏名)

公印

「令和 3 年度橋渡し研究プログラム」の研究開発課題の募集に対し、当機関（研究所）の職員が、下記により応募することを承諾いたします。



拠点が提出する書類 (公募要領 p24)

5.1.2 応募に必要な提案書類 (橋渡し研究支援拠点) ◀

No.◀	必須/ 任意◀	提出日◀	必要な提案書類◀	
1◀	必須◀	令和 3 年 8 月 20 日◀ 【正午】◀	(様式 3) 応募シーズ一覧と連絡先◀	Excel◀ ※ファイル名は「様式 3 ○○大学」とし
2◀	必須※◀	令和 3 年 8 月 20 日◀ 【正午】◀	(様式 4) シーズ選考の概要◀	PDF◀ ※ファイル名は「様式 4 ○○大学」として下さい。◀
3◀	必須◀	令和 3 年 8 月 23 日◀ 【午前 11 時】◀	(様式 5) 支援計画 ◀ ※提案書ごとに作成◀	PDF◀ ※様式 5、様式 6、様式 7 は提案書毎にまとめて PDF 1 ファイルとし、ファイル名は「様式 567 拠点名-拠点シーズ番号-所属先名-研究開発代表者氏名」(例：○○大学-B01-研究開発)とし、
4◀	必須◀		(様式 6) シーズ発掘から薬事承認までの工程表 ※様式自由 (A4 サイズ 1 ページ以内)、提案書ごとに作成◀	
5◀	必須※◀		(様式 7) チェック項目記入表 ※薬事承認申請上の分類が「医薬品」「医療機器」の課題及び再生医療等の課題のみ必須◀	

P25-26にも注意書きがありますのでお読みください

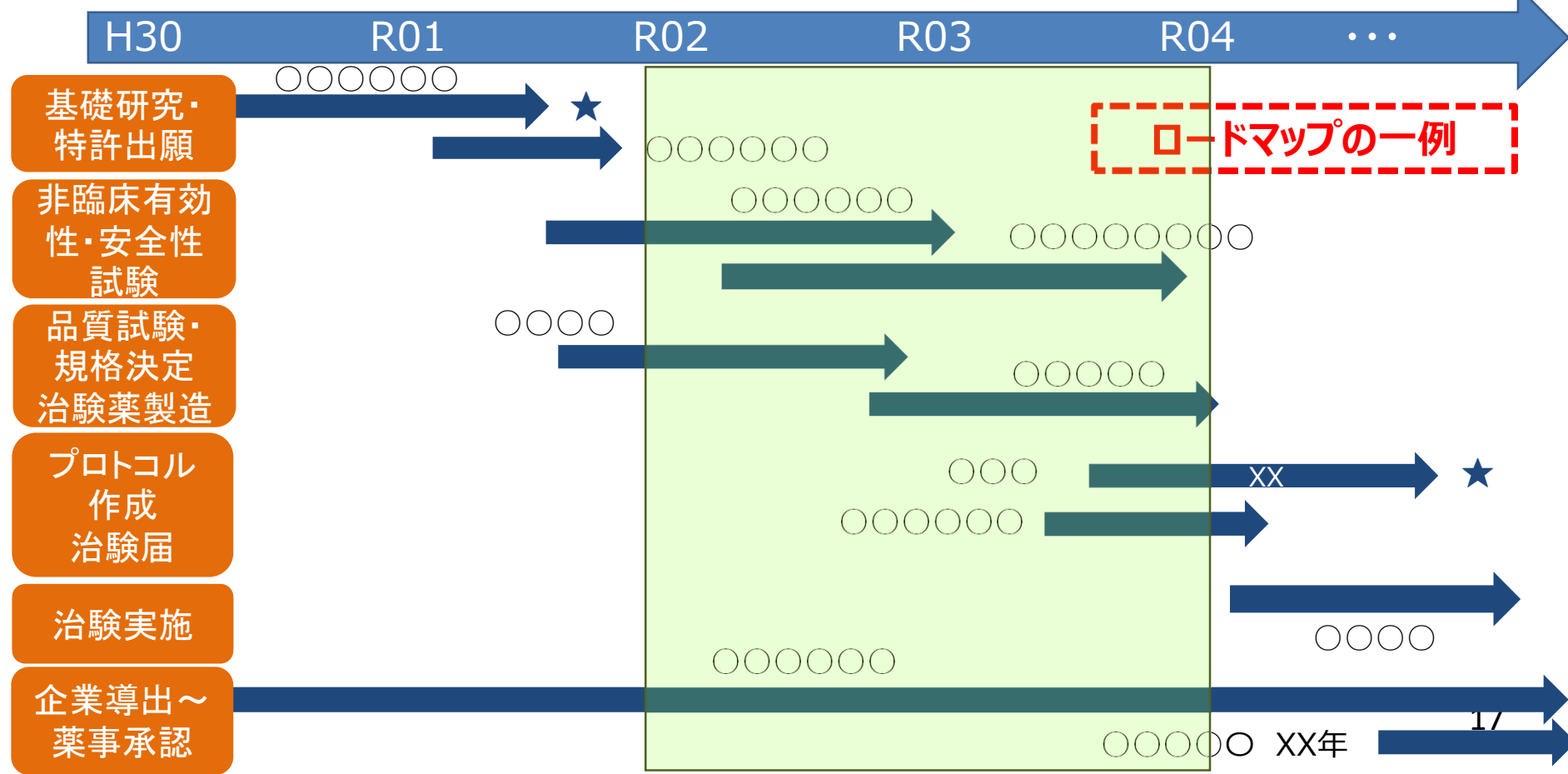
ファイルサーバー経由で提出してください

すべて必須

拠点が提出する書類 (公募要領 p25)

様式6：工程表（ロードマップ）（様式自由）

研究者の提案するスケジュール（様式1別紙1）：応募する研究開発実施期間を含む3年間
拠点の提出するロードマップ（様式6）：本シーズの発掘から薬事承認までの全体の工程表



拠点が提出する書類（公募要領 p25）

様式7：チェック項目記入表

※様式は拠点へ送付します

実用化までの研究開発におけるチェックポイント/ステージゲートを可視化し、Go/no-go判断を行う基準を明確にして効率的な研究支援につなげるため、AMEDが提出を求めるもの

医薬品、再生医療等製品に加え、医療機器のチェック項目記入表が追加されています。

(様式7) 医療機器開発マネジメントに関するチェック項目記入表

		機関名	
		所属・役職	
		氏名	
事業名		橋渡し研究戦略的推進プログラム	
応募区分		preB・シーズB・preC・シーズC	
橋渡し研究支援拠点			
研究開発課題名			
各ステージゲートにおける進捗状況について、○十分／×不十分／非該当 のいずれかを記入。			
1. 臨床現場の課題	1)	当該製品のニーズは特定の意見ではなく、客観的な情報で確認できていますか。	
	2)	当該製品の使用により、医療行為として従来と何が変わるか、臨床的意義が明確になっていますか。	
	3)	当該製品が直接的・間接的に関係するステークホルダーに与える影響(メリット、デメリット)が明確になっていますか。	
	4)	対象となる患者、疾病・診療科等が明確になっていますか。	
	5)	既存製品、既存療法との違い(差別化)、将来的な保険収載を見据えた製品の付加価値が明確になっていますか。	
	6)	当該製品について、国内／海外でのニーズの違いの有無が把握できていますか。	

応募数の上限 (公募要領 p19)



○1拠点が申請できるシーズ数について、申請数の上限はありません。
ただし拠点のシーズ管理上、進捗管理等のコントロールができる範囲とします。

研究開始までのスケジュール（公募要領 p20,24~25）



拠点：様式3，4 〆切	令和3年8月20日（金）【正午】
拠点：様式5，6，7 〆切	令和3年8月23日（月）【午前11時】
研究者：提出書類受付〆切	令和3年8月23日（月）【午前11時】（厳守）
書面審査	令和3年8月下旬～令和3年9月中旬（予定）
ヒアリング通知	令和3年9月中旬（予定）
ヒアリング	令和3年9月下旬（予定）
採択可否の通知	令和3年10月中旬（予定）
研究開発計画書等提出	採択後、速やかに
研究開始（契約締結等）	令和3年11月上旬（予定）

計画書作成期間が短くなっています
ご協力をお願いします

採択後のお願い データマネジメントプランの提出

(公募要領 p42)



日本医療研究開発機構 (AMED) データマネジメントプラン 様式 Ver2.0		
作成日		令和2年 月 日
AMED公募要領番号 (AMED公募)		
1. プロジェクト情報		
事業年度		令和2年度
事業名		
研究開発課題名		
研究開発代表者	所属	
	役職	
	氏名	
2. 本研究開発によって取得・収集され、登録の必要がある研究開発データについて		
整理・体系化 (データベース化) した登録の必要がある登録の名称		選択してください
登録の必要がない理由		
3. 登録の必要がある個々の研究開発データについて		
研究開発データの説明		
データ群名	データ群の名称 (任意)	1 ページ
	研究開発データ (1) (公開・非公開)	選択してください
	公開の理由 (任意)	
	リポジトリ (保存場所) の説明	選択してください
	リポジトリの名称	
想定データ群		
4. 研究開発データの利活用・提供に向けた取り組み		
研究開発データ (1) (公開・非公開) 提供の名称 (任意)		選択してください
方針の名称		
5. 研究開発データに関わる人材		
5-1. 研究開発データに関与した人数		
5-2. 研究開発データの管理責任者		
(1) 研究開発データ管理責任者 (研究開発データの管理責任者)		選択してください
(2) 研究開発データの管理責任者	所属	
	役職	
	氏名	
5-3. 研究開発データ (1) (公開・非公開) 提供責任者		
	所属	
	役職	



採択課題については、研究開発代表者から、採択後の委託研究開発契約締結の際にデータマネジメントプランをAMEDに提出※していただきます。

※ データマネジメントプランの提出は、公的資金により行われる研究開発課題でデータを整理・体系化 (データベース化) する必要があるものについて、AMEDが研究データの所在等を把握することにより、マネジメント機能又は触媒機能を強化し、可能な範囲で異なる研究開発課題間での連携促進や二重研究開発の回避等に役立てる等のため行うものです。

※ データマネジメントプランには、事業年度、事業名、研究開発課題名、研究から産出されるデータ及びデータ群の総称、研究開発データの説明、データサイエンティストの所属・氏名等、リポジトリ (保存場所) その他必要事項等を記載していただきます。様式を採択後に別途ご連絡します。

※ 記載事項のうちデータサイエンティストの氏名・所属については、希望しない場合を除いて他の課題情報とともに公開することとしています。

※ AMEDウェブサイト

<https://www.amed.go.jp/koubo/datamanagement.html>

採択課題の管理と評価（公募要領 p43-44）



- 毎年度、委託研究開発契約に基づき、委託研究開発成果報告書を提出すること。（翌年度5月末）
- 報告会（班会議）及びRS戦略相談にAMEDが同席することを承諾すること。
- 必要に応じ、ヒアリング、サイトビジット等の実施に応じること。

★お問い合わせ先★

- ・【橋渡し研究プログラム公募（二次公募）について】と件名に必ずご記載してください。
- ・お問合せの際には、お名前、ご所属先、ご連絡先をご記載ください。
- ・メールでの対応のみとさせていただきます。
- ・お電話でのお問合せはご遠慮ください。

E-mail: rinsho-kakushin@amed.go.jp